

街の専門医 出張診療室 Vol.189

今月の担当医

榎田医院
佐藤 弘氏



■医師データ
佐藤弘 東京大学医学部卒、東京大学医学部附属病院で漢方診療を始める。東京女子医科大学名誉教授、新潟医療福祉大学教授、前日本東洋医学会会長。

「漢方薬を上手に 使いましょう」

漢方薬の大きな利点は、一つの薬で複数の効能・効果が期待できることです。例えば八味地黄丸という漢方薬がありますが、効能・効果として腰痛や下肢痛、頻尿、ED、高齢者のかすみ目、かゆみ、慢性疲労などがあります。西洋医学でこれらの症状に一つ一つ対応していくとなると、整形外科や内科、泌尿器科、眼科、皮膚科などにかかるとなり、処方される薬の種類や量も増えます。八味地黄丸であればまとめて改善できる可能性があるので、薬の減少も期待できます。

漢方医療は今から2200年以上前に中国で体系化された伝統医療。その漢方医療だが、原因不明の体調不良や症状がある人たちに「症状が改善した」という声が多く寄せられている。そこで今回は、漢方医療について取り上げる。解説は前日本東洋医学会会長の佐藤弘氏にお願いした。

「漢方薬というのは、人が本来持っている自然治癒力や自然回復力をサポートする薬です。」

漢方薬を試していただきたい代表例は、検査で異常がないにもかかわらず、なんとなく体調不良が続くような方です。例えば、機能性ディスペプシアや過敏性腸症候群に代表される機能性消化管障害では、胃力メラや大腸力メラによる検査で明らかでない異常がないにも関わらず、胃痛や胃もたれ、下痢や便秘といった消化器系の症状が長年にわたって続きます。検査で異常がない以上、西洋医学では胃薬や整腸剤、鎮痛剤など対症療法に頼らざるを得ません。しかし、はじめに述べた通り、漢方医療は病気に対して自然治癒力や自然回復力をサポートするという、西洋医学とは違ったアプローチです。こういった原因不明の病気にも治療法があります。当院に先日、若いころから過敏性腸症候群に悩まされているという方がいらっしやいました。その患者さんに合う漢方薬を服用したところ不快な症状が消失したという好例もあります。

西洋薬は効果が高い反面、副作用も強く出ることがあります。例えば、体力のない人や高齢者には使えない薬があったりします。そんなケースでも漢方薬を使うことで症状の改善が期待できます。また漢方薬は、西洋薬による副作用で出ってしまった症状の緩和も期待できます。

漢方薬を試していただきたい代表例は、検査で異常がないにもかかわらず、なんとなく体調不良が続くような方です。例えば、機能性ディスペプシアや過敏性腸症候群に代表される機能性消化管障害では、胃力メラや大腸力メラによる検査で明らかでない異常がないにも関わらず、胃痛や胃もたれ、下痢や便秘といった消化器系の症状が長年にわたって続きます。検査で異常がない以上、西洋医学では胃薬や整腸剤、鎮痛剤など対症療法に頼らざるを得ません。しかし、はじめに述べた通り、漢方医療は病気に対して自然治癒力や自然回復力をサポートするという、西洋医学とは違ったアプローチです。こういった原因不明の病気にも治療法があります。当院に先日、若いころから過敏性腸症候群に悩まされているという方がいらっしやいました。その患者さんに合う漢方薬を服用したところ不快な症状が消失したという好例もあります。

今回の解説していただいた佐藤先生は、東京大学医学部を卒業して以来、長年にわたって漢方医療に取り組み、日本東洋医学会の会長を務めたこともあるスペシャリスト。榎田医院では毎週水・木の午前中に専門外来を担当しているの、原因不明の症状で悩んでいる人は佐藤先生に相談してみてもいい。

榎田医院 一般内科・消化器内科・血液内科
循環器内科・漢方内科・整形外科

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
15:00~17:30	○	○	○	○	○	○

※休診日 / 木曜、土曜午後、日曜、祝日

〒950-0105 新潟市江南区大淵176
TEL 025-276-2776

TVCM 放映中

みんなの笑顔を大切に
する薬局です。

+K
KYOEIDO

株式会社 共栄堂

〒950-0162 新潟市江南区亀田大月2-5-38
TEL 025-383-1200 FAX 025-383-1201
<https://www.kyoueido.net>